

目利きの本屋さんに 聞いてみた

【今号の本】
「その人らしい住まい方」



スロウな本屋（岡山市） 小倉みゆきさん

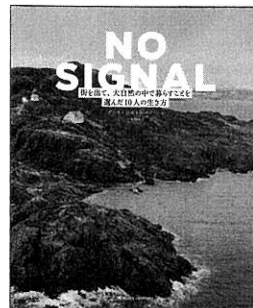
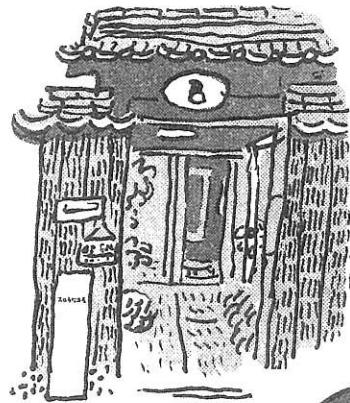
スロウな本屋店主。岡山駅から少し歩いた場所に残る木造長屋の一角に、2015年開業。毎月一冊、絵本を届ける「絵本便」が人気。庭の小鳥とよく一緒に歌うが、彼らの言葉はまだわからない。

満たされた表情が語ること。

『NO SIGNAL』街を出て、大自然の中で暮らすことを選んだ10人の生き方
ブリス・ポルトラーノ写真・文 山本知子訳

フィンランドのツンドラ地帯に馬15頭、犬8頭と暮らす30代の女性。都会を離れ、厩舎で働きながらベルシヤ武術の騎手になったイランの大学教授。ノルウェーの無人島で灯台守となったジャーナリスト……。本書は、自然とともに生きるべく人生を変える決断をした10人を、世界各地に訪ねた写真集だ。

「ここには請求書もなければ、ストレスもありません」と語るバーニーは、以前はサーカスの団員で、休む暇なく世界中を飛び回っていた。今はイングランド北部の村でトレーラーハウスに住む。川から水を汲み、電力はソーラーパネルで得る。家庭菜園を耕し、二人の子どもたちは、ポニーが引く荷車で学校に通う。元不動産屋のジェリーは、燃え尽き症候群に陥つたことをきっかけにアラスカに移住、クジラも現れる海辺の町で牡蠣の養殖をする。大学で国際関係学を学んだザヤは、モンゴルでトナカイ飼いとして生きる。冬は氷点下50度以下の世界。「雪がブーツに入り込み、足は凍りつきま



日経ナショナル ジオグラフィック
定価 2420 円（税込）

す。でも、人間関係の温かさがそれを補ってくれます。Wi-Fiがないほうが、みんなよく話しますしね」

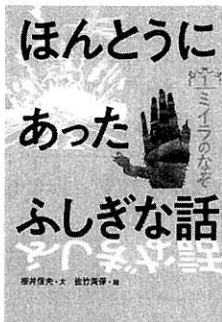
地に足を着け、空を見上げ、風を感じる場所に住む。時に命の危険とも隣り合わせ。自然に包まれた場所で、人はこころの声に素直になれる。生きていることを実感できる。自分の居場所を見つけた彼らは、物質的に豊かとはいえないが、とても満たされた表情をしている。石器時代に戻るわけではない。ソーラーパネルと蓄電池を使う人もいれば、インターネットでテレビを見る人もいる。共通するのは、世の中の当たり前ではなく、「自分にとっての居心地のよさ」を基準に住まうこと。

自分にこれだけの決断をする勇氣はあるかと逡巡するが、こころ惹かれて仕方ないのは何故だろう。ふと思いつく。15年前、東京を離れることを決めたのは、月の美しい夜だった。ああ、月を眺めることすら忘れていた、と思ったのだった。



選定図書から

ほんとうにあったふしぎな話 1 ：ミイラのなぞ



桜井信夫・文
佐竹美保・絵
あすなる書房
86p・21cm
定価1,650円(税込)
ISBN978-4-7515-3151-8
〈小中・小高向き〉

ツタンカーメン王の墓が発見されてからおよそ100年、今なお、そのすべては解明されていない。エジプトから日本まで、世界中に伝わる「ミイラのなぞ」は実にリアルだ。1テーマ20頁ほどでまとめられたやさしいノンフィクションで、絵本から読みものへの移行期にも適している。グリム童話「ハーメルンの笛吹き男」の歴史的背景なども興味深い。全3巻、リンカーン暗殺など、伝記や歴史を学ぶきっかけにもなる。(s)

奉還町ラブソディ



村中李衣・作
石川えりこ・絵
BL出版
197p・21cm
定価1,760円(税込)
ISBN978-4-7764-1061-4
〈小中向き〉

さとしは去年の秋に、結構な歴史があるという奉還町商店街の近くに引っ越してきた。無愛想で怖い「べにや」のおっちゃん、理容店のいのうえさん、雑貨屋のナミさんなど商店街の個性的な面々とかかわり合う中で、さとしはその一人ひとりに青春があり、それだからこそ今があることに思いをはせる。思い出に生きる商店街の住人たちと、日々成長していくさとしとの対比がちょっぴり切ない。(K)

留岡幸助と自立支援



藤井常文・著
玉川大学出版部
174p・22cm
定価2,750円(税込)
ISBN978-4-472-06021-2
〈小高・中学向き〉

1864年に生まれた幸助は、生後間もなく商人の留岡家の養子として育てられる。勉強好きだったが、養父には学ぶことを認めてもらえず苦悩する中、キリスト教と出会う。大学卒業後、監獄の教誨師として働くうち、悪事を犯してしまった子どもたちを更生させるという思いが強まる。やがて児童福祉の基盤ともなる家庭学校を作った。自らを犠牲にしてまでも、子どもたちに寄り添って活動した幸助。その生涯が1人称の形で語られる。(n)

教育画劇がお届けする2023年度学校図書館のための新刊シリーズ

スーパーマーケットで見て、考えて、学ぼう！ 身近なスーパーで食料問題を深掘り！

『スーパーマーケットで「食」を知る！』

全3巻 セット定価11,880円(10%税込) 各巻定価3,960円(10%税込) 28 x 22cm/各48頁/小学校中学年～中学校

(1巻)スーパーマーケットで見る 食品はどこからくるの？ (2巻)スーパーマーケットで考える 食品の値段のひみつ (3巻)スーパーマーケットで学ぶ 日本と世界のフードセキュリティ

色とりどりのスーパーマーケットの食料品売り場。日本は食料危機とは無縁そうに思えます。食品の産地や食料自給率、価格の変動、食品ロス、フードセキュリティなど、スーパーマーケットを入り口として、見かけの豊かさの裏にある、見えにくい日本の食料事情を探るシリーズです。

Articles

405 | 物性物理学

高温超伝導体の擬ギャップ相におけるトポロジカルスピントクスチャー

Topological spin texture in the pseudogap phase of a high- T_c superconductor

過去30年にわたる物性物理学研究における未解決課題の1つは、高転移温度(高 T_c)銅酸化物の擬ギャップ(PG)現象を理解することである。さまざまな実験によって、特性温度 T^* 以下での対称性の破れた状態が示されている。そのうち、光学研究によってメゾスコピック領域が小さいことが示されていたが、そうした実験は全て、ナノメートルスケールの空間分解能を欠き、微視的な秩序パラメーターは今のところまだよく分かっていない。今回我々は、ローレンツ透過型電子顕微鏡(LTEM)を用いて、PG状態にあるアンダードープ銅酸化物 $\text{YBa}_2\text{Cu}_3\text{O}_{6.5}$ においてトポロジカルなスピントクスチャーを、我々の知る限り初めて直接観測したことを報告する。このスピントクスチャーは、 CuO_2 シート内の渦状の磁化密度を特徴とし、その長さスケールは約100 nmと比較的大きい。我々は、このトポロジカルスピントクスチャーが存在する相図領域を特定し、この技術による観測には、オルトII酸素秩序と適切な試料厚が非常に重要であることを実証する。我々はまた、トポロジカルスピントクスチャー、PG状態、電荷秩序、超伝導の間に観測される興味深い相互作用についても考察する。

清華大学および華季実験室(中国) Z Wang et al.

411 | フォトニクス

ニオブ酸リチウム集積フォトニクスを用いた超高速波長可変レーザー

Ultrafast tunable lasers using lithium niobate integrated photonics

絶縁体上のニオブ酸リチウム(LiNbO_3)薄膜における初期の研究と最近の進歩によって、低損失のフォトニック集積回路、半波電圧を改善した変調器、電気光学周波数コム、オンチップ電気光学デバイスが可能になり、その応用範囲は、マイクロ波フォトニクスから、マイクロ波から光への量子インターフェースまで幅広い。最近の進歩によって、 LiNbO_3 を用いた波長可変集積レーザーが実証されているものの、周波数アジャイルで狭線幅の集積レーザーを実証するこのプラットフォームの潜在能力は十分には実現されていない。今回我々は、窒化ケイ素(Si_3N_4)- LiNbO_3 ハイブリッドフォトニックプラットフォームに基づいた波長可変速度が大きいそうしたレーザーを報告し、そのコヒーレントレーザー測距への使用を実証する。今回のプラットフォームは、超低損失 Si_3N_4 フォトニック集積回路と薄膜 LiNbO_3 のウェハーレベルでの直接接合による異種集積に基づいており、以前実証されたチップレットレベルの集積とは対照的に、8.5 dB m^{-1} という低伝搬損失を特徴とし、レーザーダイオードへの自己注入同期による狭線幅のレーザー発振(固有線幅3 kHz)が可能になった。また、共振器のハイブリッドモードによって、狭線幅を維持したまま、高い直線性と低いヒステリシスで、 $12 \times 10^{15} \text{ Hz s}^{-1}$ という速度で電気光学レー

ザーの周波数調整が可能になった。我々はハイブリッド集積レーザーを用いて、コヒーレント光測距(FMCW LIDAR)の概念実証実験を行った。 Si_3N_4 フォトニック集積回路に LiNbO_3 を付与することで、薄膜 LiNbO_3 と、精密なリソグラフィ制御、枯れた製造法、超低損失を示す Si_3N_4 のそれぞれの利点を兼ね備えたプラットフォームが作られる。

スイス連邦工科大学ローザンヌ校 V Snigirev et al.

418 | 材料科学

キラリティー連続性を有するフォトニクスの活性なボウタイ型ナノ集合体

Photonicly active bowtie nanoassemblies with chirality continuum

キラリティーは、数学的連続関数で記述される幾何学的特性である。しかし化学分野では、キラリティーを、連続的なキラリル形状ではなく右か左かという二値的な分子特性として扱うことが多い。こうした連続的なキラリル形状は理論的には可能であるが、形状が類似し漸進的にキラリティーを調整できる安定した化学構造群はまだ知られていない。今回我々は、ボウタイ型異方性形状のナノ構造微粒子が、キラリティー連続性を示し、広く調整可能なねじれ角、ピッチ、幅、厚さ、長さで作製できることを示す。ボウタイの自己制限的な集合によって、高い合成再現性、サイズ単分散性、さまざまな集合条件についての幾何形状の計算的予測性が実現可能になる。このボウタイ型ナノ集合体は、吸収現象や散乱現象に起因するいくつかの強い円二色性ピークを示す。こうした粒子は、古典的なキラリル分子と異なり、円二色性ピークのスペクトル位置と指数関数的に相関する一連のキラリティー尺度を示す。我々は、可変偏光回転を示すボウタイ型粒子を用いて、光検知測距(LIDAR) デバイス向けに、スペクトル的に調整可能な正または負の偏光の特徴を持つフォトニック活性メタサーフェスを印刷した。

N&V p.395
ミシガン大学(米) P Kumar et al.

425 | 化学

超低速イオン-分子反応において測定されたトンネリング

Tunnelling measured in a very slow ion-molecule reaction

量子トンネル反応は、気相反応、表面拡散、液相化学を問わず、古典的経路がエネルギー的に禁制な化学において重要な役割を果たす。一般的に、そうしたトンネル反応は、量子力学の高次元性を考えると理論的計算が困難であり、実験的に特定することも非常に難しい。しかし、水素系は、正確な第一原理計算が可能である。この方法で、水素分子と重水素アニオンの気相プロトン移動トンネル反応($\text{H}_2 + \text{D}^- \rightarrow \text{H}^- + \text{HD}$)の速度が計算されているが、これまで、実験的検証が欠けていた。今回我々は、極低温22極イオントラップで行った、反応速度の高感度測定の結果について報告する。我々は、 $(5.2 \pm 1.6) \times 10^{-20} \text{ cm}^3 \text{ s}^{-1}$ という極めて小さい速度定数を観測した。この測定値は、量子トンネル計算の結果と一致しており、分子論の基準としての役割を果たすと同時に、基本的な衝突過程の理解を深めるものである。高H²

密度において観測された反応速度の線形スケールリングからのずれは、RFイオントラップにおけるこれまで観測されなかった加熱ダイナミクスに由来している可能性がある。

インスブルック大学(オーストリア) R Wild et al.

430 | 化学

らせんキラルなオキソニウムイオンにおける立体中心酸素の制御

Control of stereogenic oxygen in a helically chiral oxonium ion

四面体炭素の立体中心の制御は、依然として現代合成化学の中心であり、その立体配置が安定であることによって可能になる。対照的に、3置換の窒素、リン、硫黄の化合物では、広く利用されている基本的な周知の立体化学現象であるピラミッド反転が起こる。しかし、正電荷を持つ酸素原子に3つの置換基を持つ化合物であるオキソニウムイオンの立体化学の開発は不十分であり、反応性中間体として存在する以外に、オキソニウムイオンの合成への応用例はほとんどない。酸素原子が唯一の立体中心で立体配置が安定しているオキソニウムイオンの例はない。これはおそらく、酸素ピラミッド反転の障壁が低く、オキソニウムイオンは全て反応性が高いと認識されているためであると思われる。今回我々は、酸素の孤立電子対が幾何学的制約によって反転できないことで立体配置の決定要因として機能可能となる、らせんキラルなトリアリールオキソニウムイオンを設計・合成し、その特性評価を行ったことを報告する。合成と量子計算を組み合わせた方法によって、立体配置が安定していて室温で単離できる塩を生成可能にする設計原理が説明された。我々は、反転障壁が110 kJ mol^{-1} より高いことを示すと同時に、分割プロセスを概説する。これは、我々の知る限りでは、酸素原子が唯一の立体中心で立体配置が安定なキラル非ラセミ分子の唯一の例である。

オックスフォード大学(英) O Smith et al.

436 | 環境科学

湿潤熱帯における二次林や荒廃林の炭素シンク

The carbon sink of secondary and degraded humid tropical forests

気候変動、森林伐採、火災や伐採による荒廃のために、全球的に重要な炭素シンクである熱帯湿潤域の手付かずの原生林が減少している。現在、回復しつつある熱帯の二次林や荒廃林は、熱帯林面積の約10%を占めているが、どの程度の炭素を蓄積しているかはまだよく分かっていない。今回我々は、アマゾン、ボルネオ、中央アフリカの3つの主要な連続する熱帯湿潤地域にわたって、回復しつつある森林の地上炭素(AGC)シンクを定量化した。我々の分析は、人工衛星データに基づいて、主要な環境や人為起源の駆動要因による影響を受けた荒廃林や二次林の成長の不均一な空間的パターンや時間的パターンを網羅している。その結果、回復の最初の20年間で、ボルネオの再生速度は、中央アフリカより最大45%、アマゾンより最大58%高かったことが分かった。これは、気温、水不足、攪乱状況などの変数に起因する。我々は、再

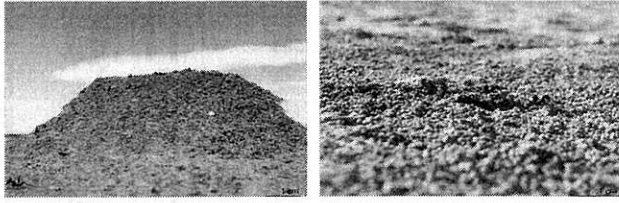


図 塩原の奥(中央)にある巣(左)と縁(辺縁)にある巣(右)

りしないように注意しながら慎重に巣丘を取り除き、再び同様の実験を行った。両条件で帰巣経路を比較したところ、巣丘を除去すると「中央の巣」のアリは、「辺縁の巣」のアリと比較して、帰路の直進性が低下した。また、一〇メートルの距離に置かれた「中央の巣」のアリの帰巣率は著しく低下したが、「辺縁の巣」では巣丘の除去に影響されなかった。

アリの巣丘は温度調節機能を果たしている場合があるが、塩原では、目印としての視覚的機能を持つがゆえに巣丘が築かれている可能性がある。そこで、一六の「中央の巣」の丘を取り除き、二つのグループに分けた。一方のグ

ループには、巣から一メートルの場所に(目印となりうる)黒い円柱(高さ五〇センチ、直径二〇センチ)二個を、巣を挟み向かい合わせて置いた。もう一方のグループには円柱を置かなかった。すると、円柱なし条件では八巢中七巢で巣丘が再構築されたのに対して、円柱あり条件で巣丘が再構築されたのは八巢中二巢だけだった。また、再構築された巣丘の高さを操作の三日後に計測したところ、円柱なし条件では除去前の巣丘に近い値が得られたの

に対し、円柱あり条件では低い値にとどまった。サバクアリは、帰巣の手がかりが乏しい場合には巣丘を視覚的手がかりとして利用するだけでなく、利用可能な手がかりが必要な場合にあって高い巣丘を構築しているようだ。とはいえ、アリの労働は分業されており、採餌に行くのは年長のアリで、巣丘を構築するのは若いアリだ。そうすると採餌アリと巣作りアリの集団間で何らかの情報共有が必要となりそうだが、このプロセスについてはまだわかっていない。

塩原のサバクアリが暮らすチュニジアから、リビアを挟んだ東にエジプトがある。巣丘の写真を見ていると、砂漠の陽炎に揺らぐピラミッドを思い出す。思い出すと言っても行ったことはなくて、砂漠の向こうにあの構築物を見つめる感覚はどんなものなのだろうと想像しただけのことだ。このところの暑さの中だと、塩原の片隅で巣丘を見上げるサバクアリの視野を自分の視覚で置き換えてみる、という意味があるのかないのかわからない想像も、少しはうまく行くかもしれない。

引用文献

- (1) Freire, M. *et al.*, (2023). Absence of visual cues motivates desert ants to build their own landmarks. *Current Biology*, 33 (13), 2802-2805.

(こばやし・ひろみ 比較行動学・発達心理学)

よって、物語は動き、物語世界は整えられていくという力学が、『いほでしのぶ』には貫かれているのではないか。

注

- 1 利沢麻美「音楽―源氏物語における横笛の役割―」（『源氏物語研究集成第十一巻 源氏物語の行事と風俗』風間書房、二〇〇二年）
- 2 中川正美「王朝物語における音楽」（『平安文学研究』六九輯、一九八三年七月初出／『源氏物語と音楽』（和泉書院、二〇〇七年）所収）廣田収「『源氏物語』における音楽と系譜」（『源氏物語の探求 第十三輯』風間書房、一九八八年）
- 3 以下、本作の琴についての詳細は拙稿『いほでしのぶ』の琴の琴―一品宮との「合はせ」―（『学習院大学国語国文学会誌』62号、二〇一九年三月）にて論じた。
- 4 若君の即位によって皇統の対立が解消されることは、横溝博『いほでしのぶ』の表現機構―皇統譜の喩としての桜―（『早稲田大学大学院文学研究科紀要』四十五号、二〇〇〇年）でも指摘されている。
- 5 『いほでしのぶ』の登場人物は、時期により呼称が変化するが、本稿では「内大臣・二位中将・一品宮・白河院・嵯峨院・前斎院・伏見大君・伏見中の君・右大将・若君・二品宮・新二位中将」に統一して記載することとする。そのため、引用本文でもこれらの呼称を「」内に適宜
- 6 補記している。
横溝博『いほでしのぶ』の右大将通世譚の方法―『今とりかへばや』取りをめぐって―（『国語と国文学』八十卷六号、二〇〇三年六月）
- 7 浅尾広良「柏木遺愛の笛とその相承」（『研究講座源氏物語の視界』4 六条院の内と外』新典社、一九九七年）
- 8 高橋亨「横笛の時空―源氏物語の音楽とその主題的表現―」（『源氏研究 第4号』翰林書房、一九九九年四月初出／『源氏物語の詩学』名古屋大学出版会、二〇〇七年所収）
- 9 田村良平「『狭衣物語』の音楽描写」（『源氏物語と平安文学 第3集』早稲田大学出版部、一九九三年）
- 10 植田恭代「後期物語と雅楽―『狭衣物語』『夜の寝覚』『浜松中納言物語』の楽描写―」（『王朝物語と音楽』竹林舎、二〇〇九年）
- 11 小嶋菜温子「柏木の笛―幻の血脈へ―」（『源氏物語批評』有精堂出版、一九九五年）
- 12 内閣文庫本、第二、三、四系統の本文では「天地をも動かし給ふべきを」になっている。
- 13 前掲田村論文（注9）
- 14 井上眞弓「天界・地上・世人の構図の中で―狭衣の超俗的属性をめぐって―」（『狭衣物語の語りと引用』笠間書院、二〇〇五年）
- 15 今井上「古」と伝える音―源氏物語横笛巻の背景」（『源

- 氏物語と和歌』青簡舎、二〇〇八年）
 16 詳細は前掲拙稿（注3）にて論じた。

17 前掲利沢論文（注1）

- 18 鈴木泰恵「粉河詣で―「この世」への道筋」（『中古文学』41号、一九八八年五月初出）『狭衣物語／批評』翰林書房、二〇〇七年所収）

- 19 横溝博「『いはでしのぶ』右大将の「あはれなる事」について―二位中将への告別の場面をめぐって―」（『平安文学の風貌』武蔵野書院、二〇〇三年）

- 20 伊藤禎子「記憶の〈音〉」（『うつほ物語』と転倒させる快楽』森話社、二〇一一年）

- 21 大井田晴彦「栄花と鎮魂―『うつほ物語』「楼上」をめぐって―」（『叢書想像する平安文学第6巻 血と家のイリュージョン』勉誠出版、二〇一一年）

- 22 三田村雅子「いはでしのぶ物語」（『体系物語文学史 第四巻』（物語文学の系譜Ⅱ 鎌倉物語Ⅰ）有精堂出版、一九八九年）

（付記）『いはでしのぶ』の本文引用は、『中世王朝物語全集4 いはでしのぶ』（笠間書院、二〇一七年）に拠り、小木喬『いはでしのぶ物語 本文と研究』（笠間書院、一九七七年）を参照した。適宜主語と呼称を（ ）に補記し、傍線を引き、巻名と頁数を付した。中略は…で示した。『源氏物語』『狭衣物語』

『浜松中納言物語』の本文引用は、「新編日本古典文学全集（小

学館）」による。それぞれ「源氏物語大成」（中央公論社）、『狭衣物語全註釈』（おうふう）で異同を確認した。